



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 特集・40歳からの健康週間… …… 2・3
- 9月定例町議会…………… 4・5
- まちの話題…………… 8・9
- みんなのひろば…………… 10・11



規格外大根の一次加工
 地場産業おこしや余剰労働力の活用を期待

市場に出せない規格外の大根の流通拡大のために、町農協の指導で今年からはじめられた「大根の一次加工」。これは、大根をたてに4つ割にして塩づけし、つけ物業者に出荷するもので、収益性にはいま一つ欠けながらも、地場産業おこしや余剰労働力の活用など、今後の振興対策に期待が寄せられています。 (写真・9月10日法内集落農場での加工作業)

広報

10月

ひがしゆり

No. 379

題字 / 佐々木青洋氏 (東由利町出身)

中年は “心と体の曲がり角”

40歳からの健康週間(10/10～10/16)・特集



写真は本文と関係ありません

働き盛りの40歳代——家庭や仕事の中心になって働く人たち。ややもすると健康のことなど忘れてしまうことがあります。しかし、働き盛りだからこそ健康に留意しなければならぬ年代でもあるのです。

10月10日から16日までは「40歳からの健康週間」です。中年と呼ばれ始める40歳代——この人たちの体と心には、どのような変化が現われてくるのでしょうか。また、健康を維持するためにどのような点に注意したらよいのでしょうか。男性の場合は「厄年と成人病」に、女性は「更年期障害」にスポットをあててみました。

なぜ厄年に災いが起こる

男の厄年は25歳、42歳、61歳と3回あります。昔から厄年には災いが起こると言い伝えられていますが、健康面については科学的な根拠がないわけではありませぬ。特に42歳の厄年のころは、体力が衰え始めているにもかかわらず、精神的にはまだまだ若いつもりでいる——このギャップに気付かず、つい20代、30代のつもりで無理をするため、ちょっとした病気でも大病にかかりやすいのです。生理学的にも、30歳代では見

られなかった体の異常が検診で急に現われるのが、厄年のある40歳代からです。具体的には、昔であれば脳溢血になりやすいとか動脈硬化が始まるといったものが主流でしたが、最近では肝機能が弱くなるとか、心臓病になりやすいといったことが、検診結果からわかってきているのです。40歳代は「成人病の入口」。『厄年年代』を無事に過ごし、その後も健康な人生を送るため、大学教授のアドバイスを紹介します。

厄年を侮るな

筑波大学医学(社会医学系)教授 小町喜男

気持ちは20、30歳代でも肉体には衰えが40歳代というのには、社会的にいろいろ責任のでてくる年代で、同時にストレスが生まれやすい環境にあるといえます。仕事の面でいえば、中心になつて働くことが多く、責任が重くなると同時に仕事で面白いのので多少の無理もいとわれないということがよくあるようです。その際に注意しなければいけないのが、肉体は20代や30代のときのように無理がきかなくなっていることです。そこに厄年の落とし穴が

肥満も

厄年の落とし穴

『厄年の落とし穴』は、成人病と関係の深い肥満にもあります。40歳代になると運動量は減っているのに、食べる量は30歳代より増えているということがあります。仕事の関係でつき合いが増え、つ

次ページ(下)へ

更年期は女性の試練

女性であれば

だれもが通る更年期

女性の40代というのは、成熟期から老年期への移行期で、更年期を迎える世代です。更年期障害とは、この「人生の変化期」に起こる女性特有の肉体的、精神的な障害のことをいいます。

更年期は卵巣のホルモン・バランスがぐずれ、機能が低下し、月経が不順になったり、ついに閉経となる、女性であればだれでも通る道です。この時期、女性は体の変調から情緒不安定になり、ほてり、のぼせ、頭痛など人によってさまざまな障害を訴えます。これが更年期障害です。

精神的なパニック状態を招く

40代は、子供が成長し親離れしたり、また、親や知人を亡くしたりする年代でもあります。そうした喪失体験から「人生は寂しい」「自分は今まで何をしていたのか」「自分はこの家にとって、もう大事な存在ではない」などと思ひ込み、精神的なパニック状態に陥って、いろいろな障害を引き起こすのです。

年1回は検診を受けるように

こうした障害は、体の変調や環境の変化によるもので、通常

は病気ではありませんので、その点を間違えないようにしたいものです。

しかし、特に生理不順で出血

家族の接し方次第で大きな違いが

更年期を迎えた女性に障害が起きた場合、家族の接し方で障害の回復に大きな違いがでます。家族が更年期に対して理解がないと、1年で治る症状も5年、10年と長びいてしまうことがあります。

かといって、あまり周りで気を使いきるのも逆効果です。

が10日以上続くようなときは、「更年期だから」と自分で判断をせず、病院へ行って診察を受けてください。子宮がんなどの病気を見過とすことにもなりかねません。そのためにも、年1回は検診を受けるようにしましょう。

ふだんと変わらない会話や態度で接するのが良いと思います。

ただ、「更年期は女性の試練」ということを理解し、温かく見守ってあげることが、家族にとって大切なことです。

このほか、精神面での更年期障害防止法として、大学教授のアドバイスを紹介します。

孤独に明るくふるまおう

ならず

東京女子医科大学産婦人科教授 井口 登美子

かつては50歳ぐらいでおばあちゃん扱いされ、希望をもつにも心細い時代でした。いま、女性は「人生80年」の世の中となりました。閉経したあとの人生が約30年もあるのですから、その期間をいかに過ごすかを考えたいものです。

没頭できるものを

何かつくる

更年期を迎える年齢になつたからといってしぼんでしまわずに、積極的に没頭できるものを何かひとつつくること



何か没頭できるものを…

をおすすめします。趣味でもサークルでも自分の入りこめるものをつくり、若い人と話せる

場を築き、孤独感に陥らないようにすることが、更年期を乗り越えるポイントです。この期間をいかに過ごすかが、これからの人生を左右する大きな分かれ道になるといえます。

これから充実した期間

日本人女性の平均閉経年齢は49歳ぐらいですが、個人差はあります。この前後10年間を更年期といえます。しかし、この時期にあっても障害のない女性が半分以上あります。「何かあったかな」という程度の意識で、更

年期を通りすぎてしまうことが多いのです。ですから「そろそろ更年期だから障害がでるだろう」などと考えないことが、一番大切です。楽しいときや仕事・趣味にうちこんでいるときは、障害に気が付かなかつたり、忘れてしまっていることが多いようです。いままではどちらかという主人のため、子供のための人生でしたが、これからは家族とともにエンジョイできるより充実した期間が訪れるのではないのでしょうか。更年期だからといって老けこむなんて考えずに、明るくふるまうよう心がけましょう。

い食べすぎてしまうといったようなことです。だからといって、急にジョギングを始めるのはちょっとまってください。20代、30代から体を鍛えていた人ならいざ知らず、腹が出はじめたからといって急に走り出すのは逆効果です。へたをすると心臓などに負担がかかりすぎて命を落としかねません。運動量を増やすためには、まず歩くことです。汗ばむくらいの速足で1日4キロぐらい歩くことを考えてください。



40歳になったら

「厄年検診」を

ストレス、体力の衰え、肥満など、40代はいろいろな負担が急にかかり始める年代です。これらの負担をどう軽くしていくか——ふだんからのヘルスチェック(検診)が大切になってきます。特に、40歳代(厄年)を節目に年1回くらいの割合で検診を受けるようにしてください。今までずっと健康だったからという過信は禁物です。目には見えない体力の衰え、ストレスの蓄積を侮り、後で大病をするのも、厄年を甘くみることによつて起こることが多いからです。

60年度各会計決算を認定

61年度一般会計に1億円余りを追加

9月定例町議会が17日に9日間の会期で開かれ、町長の町政報告、一般質問のほか、昭和60年度各会計決算の認定や町奨学資金貸付条例の一部改正案などを審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。以下概要をお知らせします。

町長選出馬を表明

畠山町長が一般質問に答え

一般質問には加藤栄一、小松鉄郎の2議員がたち、①火葬場の移転を検討する必要があるか
②行政の先行的投資で、観光開発を推進する時期ではないか
③次期町長選への出馬の意志は
④国・県道の除雪が粗末。業者委託から町委託に戻せないかなど22項目にわたって質問しました。

これに対して畠山町長は、①大規模な修復を行ったが機械設備などの機能低下も目立ち、今後の課題として検討したい。
②観光協会を充実強化し、観光行政を推進するための体制づくりをしているところであり、道路の整備あつての観光という考え方からも、まず道路整備を最優先に進めていきたい。③これまでに策定した長期構想などの逐行は私の義務であり、また、支持、支援してくださる多くの町民の方々にこたえるためにも出馬する。④県の基本方針に基づくものでありできないが、住

民の意志を県に反映し、除雪が徹底されるよう働きかけていくと答えたほか、今後の農政への提言として出された、▽行政と



一般質問に答え次期町長選出馬を表明する畠山町長

農協との連帯性、協力性の強化及び指導、責任分野の明確化を図るべき。▽中核の後継者の先進地研修の制度化と技術伝達の義務化の実施を。▽ポスト第3期水田再編対策と関連して畑作振興重点の構想を。などについて、「いずれも今後の町発展のための大きな課題であり、デスクプランに終わることのないよう十分検討を加え計画的に進めたい」とこたえました。

審議ダイジェスト

東由利町農村公園設置条例を

制定▽大琴地区(高瀬館前)に建設した公園の、管理、運営などの方法を決めた条例を制定。

東由利町奨学資金貸付条例の

一部を改正▽基金の総額を2百万円から5百万円に増やした。

過疎地域振興計画の一部を變更▽計画書中、町道、体育施設

の事業内容の一部を変更した。
町監査委員の選任に同意▽任期満了に伴い遠藤莊二郎氏(小倉・70歳)が退任、後任として長谷山喜市郎氏(下通・71歳)を選任することに同意した。



監査委員に選任された長谷山氏

町政報告

今議会にて畠山町長が報告した「町政報告」の主要事項のみ掲載

出羽丘陵開発事業

▼全体計画に対するこれまでの事業進捗率は51%。今年度は善徳団地外8団地で草地造成、道路整備、畜舎建築などを行っており、その進捗率は102%。107号線宿工区▼建物移転補償及び用地買収を完了。62年度から本格的工事に着手。

県道榑淵横渡線▼黒沢地区の舗装工事760mが発注済で、180mの追加発注が計画されている。横渡地区の改良工事も発注済。

県道山崎鴻屋十文字線▼今年度1億1千6百万円の事業費で工事が進められており、予定分はこれで完工。田屋橋から約600mの未完成部分は、別途工事として62年度に継続して実施される計画。

県道神岡坂部横渡線▼中の沢地内で予定されていた工事が、白沢トンネル出口付近で発生した地すべり災害のため工事発注ができず、現在復旧工法の調査中。

県営広域農道八沢木地区(高

村線)▼高村地内手前の橋梁2橋が発注され難所工事が進められている。

このほか、▽林道矢走線と荒沢川線の開設工事、ボツメキ線の舗装工事は予定どおりの発注で順調に進んでいる。▽大台線は災害発生箇所を除き舗装が一応完了。▽坪倉線は測量調査中であり、追加予算が配分されたことから一部改良工事の発注が計画されている。▽深山線も測量調査中で、一部改良工事が着工される見込み。

健康増進施設(体育館)▼進捗率は約60%。本体の建設工事は年内に完成、外構工事は来年度に完成予定。



工事が進む健康増進施設(体育館)

袖山地区多目的研修施設▼進捗率35%。外構工事中62年度工事分の一部を今年中に繰上げ発注できる見通し。

テニスコート▼10月末までに完工の予定。
みどり保育園▼進捗率45%。10月末完工予定。

町教育委員会委員の任命に同意
 ▼任期満了となった同委員に伊東知也氏(蔵・63歳)を再任することに同意した。伊東氏は昭和50年以来連続3期11年目。

主な補正予算

61年度一般会計予算に、1億554万円を追加、歳入歳出予算の総額はそれぞれ24億4千867万1千円となった。歳出補正予算の主な内訳は次のとおり。
 ▼奨学資金貸付基金へ繰出 300万円
 ▼町史編さん関係 203万2千円
 ▼道路橋梁災

低迷の農業に英断の町政を

総務財政常任委員長報告

町議会最終日に、総務財政常任委員会に付託されていた議案等について、伊東委員長が審査結果を報告。伊東委員長は、「きびしい財政事情の中で堅実な財政運営が行われたことを評価する。しかしながら、米価の据置など低迷する農業の現実をふまえ、今後の農業振興に英断をもって町政運営し町民所得向上に努力されるよう要望する。」と、のべるとともに、各常任委員会からの要望事項について次のとおり報告しました。

〈総務財政常任委員会〉

▽役場庁舎早期建設のために建設基金の創設を
 ▽西山工業団地の整備を
 ▽町観光協会へ

害復旧費817万6千円
 ▼河川災害復旧費1億754万2千円



大幅な補正を行った災害復旧工事

の補助金増額、施設整備の強化、いこいの森管理条例の制定を
 ▽大平スキー場の初心者用ゲレンデにも照明の設置を

〈教育民生常任委員会〉

▽教員住宅の環境整備を
 ▽町民グラウンドに簡易スコアボードなど必需設備の早期整備を
 ▽台山グラウンドに管理棟の設置、観覧席の整備を、また桜の補植などについての検討を

〈産業建設常任委員会〉

▽転作主要作物栽培振興のため、土地高度利用技術者の養成などを図るとともに、栽培から流通までの一貫体系のため、ネクターリンなどの試作圃を設置し定着の指導を
 ▽肉用牛の繁殖

陳情等

今議会で採択された陳情事件は次のとおり。

▼地域林業の活性化、国有林野事業の再建と林業労働力確保のための陳情(全林野労働組合本荘営林署分会・執行委員長山田多喜夫)

▼昭和61年度産米政府買入れ価格等に関する陳情(東由利農業協同組合・組合長理事小笠原謙一ほか)



から肥育までの一貫生産体系のデーターを作成し、指導を
 ▽町内老朽溜池を調査の上危険溜池に対策を
 ▽県道羽後向田館合線住吉地区の早期工事着工のため用地関係者の理解要請を

町づくりにお金は使ったお金は26億円

昭和60年度各会計の決算が9月定例議会で認定されました。町づくりの根幹をなす一般会計では、特養老人ホーム、高瀬小プール、東由利中給食棟の建設や、道路の新設、改良・舗装工事を主として前年度より13・4割多い約26億円を支出しました。これに対して収入では国・県の補助金等の確保に努めた結果約27億円となり、1億円余りの黒字決算となりました。

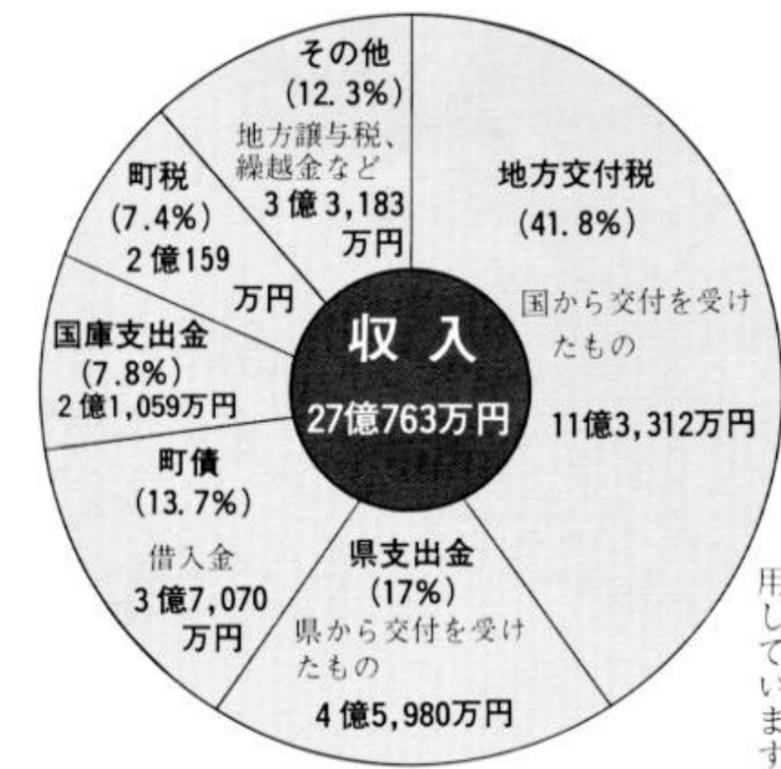
支出のトップは民生費

支出で最も大きい項目は民生費ですが、この中の約7割は特養老人ホームの建設費です。また、全体の2割近くを占める農林水産業費では、農道、林道、集落道などの新設、改良、舗装のほか、畜産広場の建設、健康増進施設(体育館)の一部工事などが行われました。このほかの建設事業関係支出で主なものは高瀬

町税21年連続で完納

収入は前年度を12・4割上回る27億763万円、唯一の自主財源である町税は21年連続して完納になりました。

また、借り入れたお金(町債)は全体の約14割にあたる3億7千70万円ですが、国が返済を手伝う町負担の少ない借入金を利用しています。



育もう郷土愛・豊かな心

町の担い手である子どもたちが、郷土愛と豊かな心を持ち健全に育つためには、親・家庭・学校・地域はどうあるべきか—

9月5日、町連合PTA(佐藤智治郎会長)では「第8回東由利町連合PTA研究集会」を有鄰館で開き、近年見られなかった150人余りの多数の参加で、子どもの健全育成などについて真剣に話し合いました。

第8回町連合PTA研究集会



研究集会は午前9時に始まり、開会行事に続いて4テーマに分かれた分科会が、昼食ののち講演会、全体会が行われ、午後4時に閉会しました。

分科会では、各々2人ずつの話題提供者がそれぞれのテーマに従って事例発表を行い、県在学青少年指導員などの助言を混じえながら話し合いが行われました。その内容は、全体会で各々の司会者が報告、まとめの一部として次のようなことがあげられました。

郷土を愛し自然に親しむ子を育てるために(第1分科会) — 子どもの自然にふれ合う機会や行動に対して制約が多い今日、行政・学校・地域・家庭が協力し合い、実践活動としての場づくりをすることが必要。いたわり合える子どもに育て

るために(第2分科会) — 地域の大人は、自分の子どもの有無にかかわらず、「地域の子」という認識で子どもとふれ合うことが大切。

働く子どもに育てるために(第3分科会) — 子どもにやる気を起こさせ、働くことの喜びを感じさせることが必要。そのためにも、親の働く姿を子どもに見せることが大切。

整理整とんのできる子どもに育てるために(第4分科会) — 家庭で親自らが手本を示す必要がある。また、自分のことは自分でする習慣を身につけさせることが必要。 — などのほか、子育てにおける問題点や意見などが活発に出されました。

「心の教育」でいじめ撲滅

全県のトップ切り感動体験発表会開催

「いじめ」の撲滅には「心の教育」が必要であるとして、県教育委員会が9月1日から「心の教育」県民運動推進事業を実施、これに伴ない全県各市町村では、感動体験発表をメインとした「心にふれる感動体験発表会」をそれぞれ開催しました。

本町でも全県のトップを切つて、9月2日東由利中学校体育館で開催、小・中学生と高校の児童、生徒約400人が参加し、各校から代表10人が心にふれる感動体験を発表しました。発表は1人5分〜8分程度で、牛の出産に立ち合ったときのこ

昼食後に行われた講演会では、「子どもの健全育成のための大人の役割を考える」と題し、前秋田県生涯教育センター副所長



活発な話し合いが行われた分科会

の渡部博熙氏が講演を行いました。渡部氏は、高学歴化社会が口先だけの人間を作っていない

と、喘息キャンプに参加したときのことなどをそれぞれが情感を込めて発表、発表者には佐藤町教育委員長から発表を賞賛する賞状と盾が贈られました。

竜三くんが郡でも発表

また、町教育委員会では発表した10人のうち、最も優れていたと思われる発表者一人を「本荘市由利郡感動体験発表会」に推せられました。

推せんされたのは、「ぼくと牛」と題して発表した八塩小5年の小野竜三君で、竜三君は9月24日由利組合総合病院3階ホ

だろうか—省力化が進んで共同作業がなくなり人間関係を浅くしている—など、地域の現状の変化を話し、しつけのあやまり、環境の影響、体験(感動)の不足を指摘しました。そして最後に、親は何か感動するということ子どもが小さいうち(人格形成期)に体験させる役割を持つてほしい—家庭の中では父と母の座を明確にしきちんとした役割を持つてほしい—地域の大人は子どもにとっては恐い存在であるべき—と話し、講演を終えました。

研究集会終了後、参加者らは子育てのむずかしさをあらためて認識し、地域や家庭での実践を誓い会場を後にしました。



各校代表10人が感動体験を発表

武田さん、太田さんが優等賞

県共進会に本町から13頭出陳

県内畜産農家の祭典「第75回県畜産共進会」が、9月4日から3日間河辺郡河辺町の県中央家畜市場で開かれ、本町からも町や郡の共進会で上位入賞をした肉用牛、乳用牛合わせて13頭を出陳。審査の結果、肉用牛黒毛和種若雌(24ヶ月)部門で武田玲子さん(宿)の「ゆうづき」が、同繁殖雌牛群(1産以上)部門で太田行雄さん(蔵新田)の「とちよし」「ますとち」「すみこ7」がそれぞれ優等賞に輝いたほか、1等賞に5頭が選ばれました。



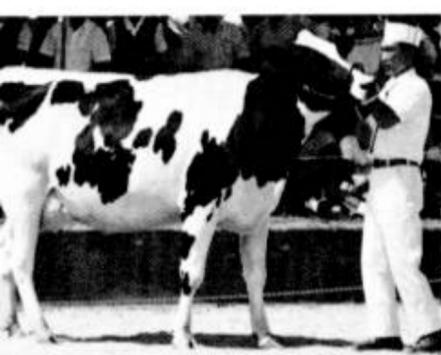
優等賞の「ゆうづき」と武田さん



優等賞の「とちよし」ほかと太田さん(左)

大庭さんは東北(ホルン)で優等賞

第8回東北地区ホルン・ホルン共進会が9月10・11日の両日、宮城県古川家畜市場で開かれ、秋田県代表で雌牛3歳クラスに出陳した大庭喜一郎さん(舟木)の「ニューランズ・シーク・クリスチナ」がみごと優等賞に輝きました。同共進会は東北6県内会場持ちまわりで、2年に一度開かれているもので、今回は200頭



優等賞の「ニューランズ・シーク・クリスチナ」と大庭さん

が出陳、各クラスごとに体型、能力等を競い合いました。

た。これらの審査にあたった斎藤貞蔵審査委員長(県畜産試験場長)は、「昨年より粒ぞろいで年々レベルのアップがみられ、血統や日常の飼養管理の高さを裏付けている。」と講評していました。

部門別の優等賞・1等賞は次のとおりです。(敬称略)

〔優等賞〕
肉用牛・黒毛和種若雌(24ヶ月)▽「ゆうづき」武田玲子(宿)
同・黒毛和種繁殖雌牛群(1産以上)▽「とちよし」「ますとち」「すみこ7」太田行雄(蔵新田)

〔1等賞〕
肉用牛・黒毛和種若雌(20ヶ月)▽「まさこ」伊東正男(蔵新田)
同(24ヶ月)▽「ゆり」小野武雄(宿)

肉用牛・黒毛和種成雌(27ヶ月)▽「よしきかえ6」畑山藤作(土場沢)

乳用牛・ホルン種経産(3歳以上)▽「フィインランド・カウント・ノーザン・ホープ・フタゴ」大庭喜一郎(舟木)

乳用牛・ジャージー種▽「ウイロー・ロマンス・マイルストーン・ミルキー」大庭喜美子(島)

交通事故

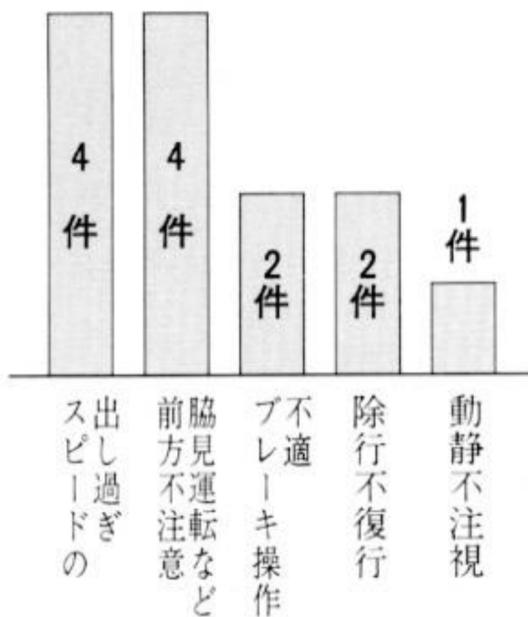
前年同期より12件増

一歩間違えば死亡事故に...

本町管内における交通事故は9月末で45件と、昨年同期より12件多く発生しています。このうち死亡事故につながる恐れのある人身事故は13件で、18の方がケガをしています。この中の4件は子どもが飛び出しが原因の事故でした。

これからの時期は日没が早く、運転しにくい状態となります。特に、暗がりからの子どもが飛び出しには十分気をつけましょう。

●東由利町管内人身交通事故の原因別状況(1~9月)



●東由利町管内人身交通事故月別発生状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
件数	1	2	3	0	0	1	3	2	1	13

交通死亡事故 0

2500日

(62年4月25日)

まであと

200日

みんなの注意で達成しよう

まちの話題

Machino wadai

● 歳時記

新米



10月は実りの秋——待望の新米シーズン到来といいたいところですが、実はもうとっくに新米が食卓にのぼっていることをご存じですか。

以前は10月半ばあたりが本格的な稲の刈り入れの時期でした。ところが、最近では収穫が早くなり、千葉県、宮崎県あたりでは8月20日ごろから始まり、9月に入ると各地で刈り入れは本番となります。これは、稲の開花期が9月の台風シーズンにあたらぬように栽培の時期を早めたためです。

それと、兼業農家が増え、本来6月ごろの田植えを

4、5月の連休にやってしまいう農家が増えたためではないかともいわれています。

ところで、新米という新入りの人をさげすむような言葉として使われますが、古米や古古米よりおいしい新米なのに、なぜそのような使われ方をするのでしようか。これはどうやら「新前」がなまって新米となったためのようです。

さて、実りの秋10月、本町では稲の穫り入れが真盛り。新米は、豊作の喜びをかみしめながら味わいたいものです。

ピアノ：上手になったかな

未来のピアニストたちの「ピアノ発表会」

町内には、ピアノを習っている子どもたちがたくさん多勢いるようです。

ピアノを教える方たちが、生徒たちの上達ぶりを父兄に披露する機会をいと、開いているのが「ピアノ発表会」で、9月21日、有鄰館で3回目の発表会が行われました。発表会では、ピアノを習う幼児から高校生30人余りが日ごろの練習の成果を披露、緊張のあまりちよっぴり間違いながらも真剣なまなざしで演奏するわが子に、父兄たちは盛大な拍手を送っていました。



父兄の前でピアノの上達ぶりを披露した「ピアノ発表会」

収穫を目前に各地で多彩な催し

法内地区では「秋祭演芸会」開催

稲の収穫が目前の9月上旬、芸術・スポーツの秋ならではの行事があちこちで行われ町を色彩りました。ここ法内地区でも恒例の「秋祭演芸会」が、9月14日法内分館（旧法内小体育館）で例年にも増したにぎやかさで行われ、民謡、カラオケ、ダンス、民俗芸能、マジックショーなどの多彩なプログラムに、観客はくぎづけになっていました。そして終盤、地元法内盆踊りの太鼓や笛が鳴り出すと観客は自然と輪の中に……踊りは豊作を祈っているかのように見受けられました。



多彩なプログラムが観客をくぎづけにした

愛の献血ありがとう

9月22日に移動献血車「あかつき号」が来町、次の方々から尊い血液をいただきました。◎は4百ミリットル献血者）敬称略

（大琴診療所）

◎小野勤 武田玲子 小野実 ◎梅津栄一 畑山美喜子 工藤太一 佐々木昌之助 小笠原明彦

（役場）

高橋政一 ◎小野栄子 遠藤文男 ◎石渡博澄 畠山基保 伊東正志 小松信 小松和子 寅田敏雄 小野トモ子 小野千登勢 鈴木政雄 佐々木文子 佐藤孝悦 遠藤晃 小野明春 遠藤利彦 高橋美栄子 小野信子 佐々木薫

出原高吉 ◎伊東民雄 伊東志津子 遠藤正一

（玉支所）

高橋富男 横山玉一 小松敏子 太田幸雄 莊野一美 莊野明 ◎鈴木美津子 ◎阿部道雄

（公民館）

阿部恵美子 小松孝子 工藤良 青木和雄 浅田誠 菅原賢治

（大蔵館）

小笠原秋夫 ◎小笠原豊和 鈴木ヒサ 巖石文弥 小野賢治 伊東隆 ◎木島忠志

伊東さんに金色有功章

献血回数50回以上の人に贈られる「金色有功章」が、このほど日本赤十字社秋田県支部長から伊東健市さん（蔵新田）に贈られました。

ふるさと将棋大会結果

8月15日・商工会館会場
▽一般の部 優勝小野裕明さん（宿） 準優勝阿部力さ

ん（本荘市） 第3位小松良蔵さん（埼玉県・老方出身）

▽中・高校生の部 優勝佐藤敏夫くん（下小路）

間伐材利用し「竹馬」制作

町森林組合青年部のアイデアで

町の林業後継者たちで組織されている町森林組合青年部（小笠原豊和部長・部員14人）が、このほど間伐材有効利用の一環として同材を利用した「竹馬」を制作。寄贈先の町内小学校の子どもたちに喜ばれています。

間伐材は、林業家たちの遊休資源でもあり、その有効利用が大きな課題となっていますが、小笠原部長は、今後もアイデアを出し合い、有効利用を研究していきたいとしています。



完成した「竹馬」を手に、町森林組合青年部員

青少年のこころを魅了

邦楽を聞いた今年の「青少年劇場」

青少年に本物の芸術を見聞かせ、感動する心豊かな人間性を育みたい——と、町教育委員会が6年前から行っている「青少年劇場」。今年9月10日東中体育館を会場に、邦楽で日本を代表する「日本音楽集団」が、邦楽特有のファンタジックなメロディで集まった小・中学生を魅了しました。

演奏曲は「お江戸日本橋」「荒城の月」など全15曲。アンコールで「コンドルは飛んでゆく」が演奏されると、会場から自然と拍手が湧きおこり、なごりを惜しんでいました。



ファンタジックなメロディーで青少年の心を魅了した邦楽の演奏

本町青年部が県大会で初優勝

秋田県たばこ耕作組合青年部野球大会

第11回秋田県たばこ耕作組合青年部野球大会が、9月17日秋田市向浜の県立野球場で行われ、増田たばこ耕作組合青年部代表で出場した本町たばこ耕作振興会青年部（小松正武部長）がみごと初優勝を飾りました。

同大会には全県各地区の代表7チームが出場、本町チームは初戦藤里町に5対3で、2回戦前年優勝の中仙町に3対1で勝ち進み、決勝で稲川町と対戦し6対1で圧勝したものです。



全県大会を制覇した町たばこ耕作振興会青年部チーム

町長の喫茶室



町長
島山亮二郎

——人をいたわり真心のふれあう町をつくりまします——
これは、町民憲章の第1章である。

特養老人ホーム「東光苑」の建設は、この町民憲章の実践でもある。恵まれない寝たきり老人の方々に対して暖かい愛の灯を：愛のぬくもりを：。たとえ家族とともに住めなくとも家庭のぬくもりを肌を感じる：。そんなホームにしたいという理由で、蔵集落内に建てた里型のホームである。

さて、「寝たきり老人」と聞いただけで、孤独で暗い雰囲気になってくる。寝たきりになったからこそ知ることが出来る心の安らぎ、楽しさか何かがあるはずだ。そのような考え方に視点をあてた運営を「東光苑」ではしてみたいものだ。

9月15日敬老の日。この日に、今ペンをとり思い出

「福祉の町づくり急ピッチ」

したことがある。フランスの小説家モーパッサンの短編小説に出てくる話し：「どうせ寝たきりなら、寝ていて腋の下で卵を抱いてヒナをかえそう：。」と、おばあさんがヒナをかえし、そのヒナがおじいさんのひげの中に入り、ピヨピヨと鳴いて周囲のみんなが目を細めて喜んでいいる。この情景を：。そんな微笑ましい寝たきり生活の喜びがあつていいはずである。

東光苑に入れない寝たきりの方々に7月からデイサービス事業をはじめた。現在わが町の在宅寝たきり老人は28人いるが、そのうち13人の希望者に対して入浴サービスと給食サービスを提供している。また、一人暮らし老人30人のうち、給食希望者17人に対しては月2回の暖かいおいしい給食を支給することとした。その外、「老人保健機能訓練事業」として、東光苑のリハビリ訓練機材を利用して機能回復訓練を行っている。一方、児童福祉施設の充実を図り、みどり保育園が新しく近代的設備で目下建設中である。21世紀に向けた長寿社会対応の行政が、いまわが町では急ピッチ。行政は次代に向けた先取りの行政こそ大切であり、これが町発展につながるかと考えている。

みんなのひろば



鎌田由美子さん・黒 洸
23歳・武さん長女

われら中年 がんばって ます!

長谷山英士さん
時雨山・48歳

キャリア27年の 農業機械エンジニア

農業の近代化は、すなわち機械化農業の進展。こうした現代農業の陰の力となつてがんばっているのが、農業機械のエンジニアである長谷山英士さんです。昭和34年東由利農協の農機具



センター勤務以来、27年のキャリアを持つ農業機械の修理、整備の超ベテランで、農繁期には、夜・昼となく農作業の現場に引き出され機械の修理にあたる農家の心強い「助っ人」です。農業機械の進歩はめざましく、特に近年では先端技術導入の機械が普及、修理も複雑化してきていますが、長谷山さんはこう

した新技術のマスターも欠かしません。

長谷山さんは、「技術の進歩で機械の故障は少なくなっているものの、使用者の初歩的ミスや整備点検を怠ったことによる故障は相変わらず断えない。」と、機械使用の基本的な心構えの欠如を指摘し、「機械は、使用前の十分な点検と、使用後の整備を行うことで故障を少なくし長持ちさせることができる。」と、機械を大事に使ってほしいことを訴えています。

ヤングレポート

29

もうすぐ24歳の誕生日を迎える由美子さん。「25歳までにはお嫁にいかなくっちゃ」と、結婚への関心をほのめかしています。今年6月に愛知県からユーターンしてきたばかりで、8月から館合の小松齒科医院に勤めています。

家族は：
祖母、両親、兄の5人です。
愛知県での暮らしは：
とてもいいところでしたが、でもやっぱりふるさとを捨て切れなくて帰ってきました。

理想の男性は：
中村雅俊さんと三浦洗一さんをたして2で割ったような、温かくて広い心を持っている人のところへ嫁さんにいけたらなー。町にもどって少し太りぎみになったことを気にしている由美子さん。取材帰りに、「早くテニスコートができないかな」との一人ごとを耳にしました。

仕事は慣れましたか：
先生はじめ、みんな若い人ばかりなので、とても楽しく仕事をさせていただけます。

休日には何を：
掃除と洗たくで半日。あとは、音楽を聞きながら洋服を作ったり。

理想の男性は：
中村雅俊さんと三浦洗一さんをたして2で割ったような、温かくて広い心を持っている人のところへ嫁さんにいけたらなー。町にもどって少し太りぎみになったことを気にしている由美子さん。取材帰りに、「早くテニスコートができないかな」との一人ごとを耳にしました。

理想の男性は：
中村雅俊さんと三浦洗一さんをたして2で割ったような、温かくて広い心を持っている人のところへ嫁さんにいけたらなー。町にもどって少し太りぎみになったことを気にしている由美子さん。取材帰りに、「早くテニスコートができないかな」との一人ごとを耳にしました。

私の赤ちゃん

高橋 恵ちゃん(五海保)
60・9・11生まれ
正さんと真知子さんの長女



キューピーみたいな目がトリードマークの我が家のおてんばさん恵は、10か月ごろから歩き始め1歳を過ぎてから一段とじゃじゃ馬ぶりを発揮。家ではもちろん近所からも「恵ちゃん、恵ちゃん」とかわいがられています。病気知らずの元気な女の子に育ってね。

東由利の文芸

- 秩序ある世界なぞらふ秋桜 阿部 義直 (沼)
- コスモスや石垣残り空屋敷 小松鉄太郎 (下通)
- 夜巡りに拍子木餅月の道 小松慶治郎 (高戸屋)
- 肉親と会えたる孤児や秋桜 小松 徳蔵 (湯出野)
- 老二人無口で栗剥く無月かな 菊地 常作 (湯出野)
- 魔校跡こぼれ咲き継ぐ秋ざくら 高橋 秀子 (横渡)
- コスモスにすねて歩まぬ子と立てる 小松メサコ (下小路)
- 晩学の背に月負って帰りけり 小笠原亮子 (蔵新田)
- 月の暈明日なる旅へ気をやみぬ 阿部 澄子 (蔵)

(次ページへ)

みんなのひろば



東由利町愛育班員
小笠原キワ子さん
(大琴)

バランスのとれた栄養で 心臓病を防ぎましょう



実りの秋10月は、「食生活改善普及月間」です。
健康と深いかわりをもつ食生活——最近では、従来のお米を中心とする日本型食生活から、肉などを中心とする欧米型の食生活へと変わりつつあり、このところ増えはじめている心臓病は、このような食生活の変化も原因のひとつと考えられているようです。

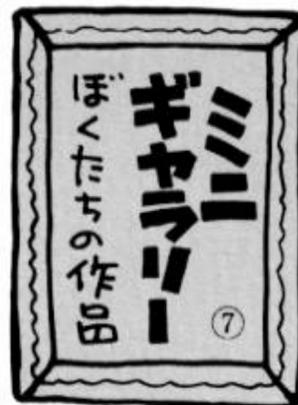
食生活で心臓病を防ぐには、脂肪分の取りすぎに気をつけると同時に、食べすぎによる肥満や塩分の取りすぎに注意することが大切だとされており、日ごろ野菜や肉、穀物などいろいろな食品から、栄養をバランスよくとるよう心がけたいものです。



ひでき
高橋英樹くん
八塩小・4年



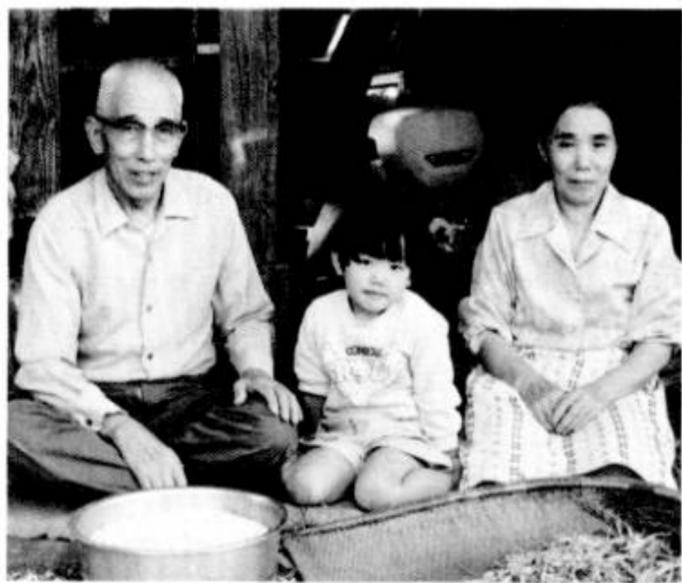
題・「自画像」



えりこ
畠山恵理子さん
八塩小・4年

金婚しんいらっかい

18



小野 太一郎さん・
タケミさん・
新町・結婚歴50年
6874歳

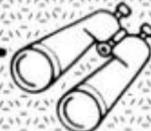
長寿の秘訣について、「決して体はじょうぶでないが、無理のない生活が長生きの妙薬…」と話す太一郎さん。若いときから電気工や大工の仕事が好きで、大工仕事は今も唯一の楽しみ。しかし、あまりはりきり過ぎてはしごから転落し入院する一幕も。これはつい最近のことでしたが、今ではほとんど回復し、元気な毎日を過ごしています。

太一郎さんより67年下の妻タケミさんは、「人生80年時代の最前線を生きる68歳の若いおばあさん。家事一切をとりしきりながら、農繁期には野良着姿で元気づけを披露します。お二人とも、仲むつまじくいつまでもお元気で——」。

公民館「図書」案内

秋桜市に発つ牛見送りぬ
待つ人もなきバス停に秋桜
小野 貞子(蔵新田)
小笠原トミ(蔵新田)

●日本とは何か(梅棹忠夫) ●日本宝島(上野瞭)
●シカの来る分校(桜井信夫) ●南風の吹く日
(下嶋哲朗) ●馬車は走る(沢木耕太郎) ●ガリ
レオの生涯(シテクリ) ●君たちは性をどう考
るか(奥田継夫) ●昭和史を語るI(木村時夫)
●カメラがほしい(尾述克彦) ●古代人はどう暮
らしていたか(ジョン・M・コールド) ●ひげよ
さらば(上野瞭) ●雑木林通信(足田輝一) ●家
郷70年(大庭良美) ●いのち(柳沢桂子) ●家族
(吉田とし) ●お父さんのための小学校「理科」
教室(舟木嘉浩) ●モスクワとの訣別(アルカジ
ー・N・シェフチェンコ) ●深夜特急・第1便・
黄金宮殿(沢木耕太郎) ●深夜特急・第2便・ペ
ルシャの風(沢木耕太郎) ●湿原上・下(加賀乙
彦) ●イリソンの人間のあゆみ(セガール)

わが町  スムア・フ



ニリンソウ(キンポウゲ科)

郷土の野草



19

フクベナ、フクベラなどといわれ、山の比較的下のほうの半日陰のところによくはえています。ここではあまりたべないようですがキンポウゲ科の植物で食用になるのはこの草ぐらいで、山菜料理としておひたし、汁の実、あえもの、天ぷらなどに利用され強壯、解熱、整腸などの薬効もあるといわれています。ただ、まだ白いウメの花のような二輪の花をつけない前の、芽のびて少し葉を開いたところ、イチリンソウやトリカブト(いずれもキンポウゲ科の毒草)と葉の形がよく似ているので注意が必要です。この草の根やくきを日陰で干して煎じてリウマチの薬にします。(小松忠正)



27



齋藤紀子さん (舟木出身・45歳)

懐しいふるさと

月日のたつのは早いものです。下郷中学校を卒業して30年にもなつてしまいました。私たちの小学校時代は、かすりで作った洋服に縞のズボンという、何とも不思議な服装でした。中学に入ってようやくセーラー服を買ってもらった時のうれしさは今でもは

つきりと覚えています。お金があつても品物のない時代：鉛筆1本、消しゴム一つでも、ちつちつくなるまで大事に大事に使つたものでした。今の時代とは天と地の違いですね。8月13日、下郷中学校の9期卒30周年祝賀会が有隣館で盛会に行われ、私も出席させていただきました。町長さんはじめ、下郷中学校の校歌を作詞作曲された佐々木定雄校長先生、小

松昭二先生、小松タカ先生、岡部孝先生——懐しき恩師の顔々：そして30年ぶりに逢う同級生、ほんとうに懐しさが込み上げて、つい中学時代にもどつた思いではしゃいでしまいました。また、翌日は地元同級生のみなさんのおとり計らいで町内めぐりをしました。町の変わり様に感動するとともに、町民が一つの輪となつて協力し合い、努力している姿をみて胸が熱くなる思ひでした。どうぞこれからもすばらしい町づくりのために、町民が丸となつて取り組まれることを心から祈念いたしております。(お住い▽東京都目黒区本町6の10の3)

お元氣ですか
保健婦です

25

お酒、じょうずに飲んでますか!!

加をみては「どうしてかな」と疑問を感じたり、机上の仕事でも本人と向かい合っているような気がします。9月の中旬には、7会場で成人病予防教室を開設しましたが、自分や家族の健康状態に関心を持ち熱心に聞かれる方が多く見うけられました。しかし、「いけないこととは気づいても、飲食物のことはなかなか言いにくい」。との声もあり、その賢いハンドルさばきが主婦の腕のみせどころとも言えそうです。秋の味覚が香り、いっそうお酒のおいしくなる季節。お酒は上手に飲めば、社会や家庭生活を楽しくさせます。お酒による体の故障を防ぐためにも、肝臓を守るためにも、わが家の休肝日、設けてみませんか。(保健婦・伊東)

情報コーナー

日時	場所
9月15時	蔵立寺
9月21時	黒沢会館
9月21時	宿会館
9月12時	高村分校
9月15時	町役場
9月21時	沼分校

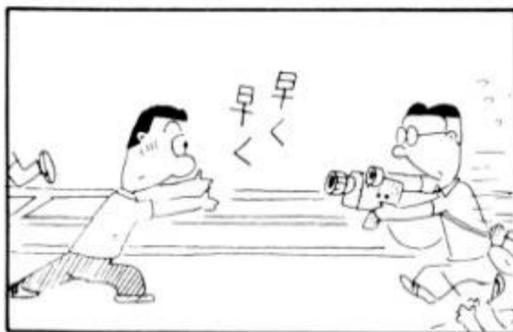
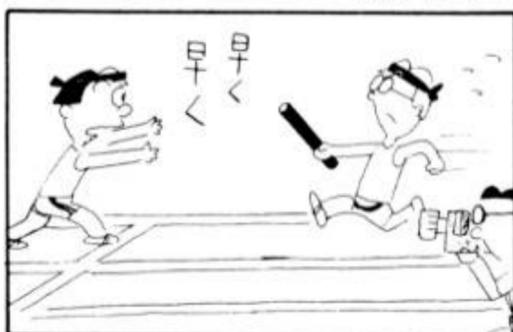
行政相談所開設

無料人権相談所開設

日時 10月30日(木) 午前10時から午後3時
場所 東由利町役場
相談員 人権擁護委員・法

さわやか 君

西村 宗



わが町スーパード

町の銘産品 したずねある記

⑦

「八杉会」の木工製品

建築仕様の变化に伴う木製建具の需要激減を端緒に結成された建具職人グループ「八杉会」の木工製品。スギ間伐材で試作したりリビングセットや応接セットは、製作技術に高い評価が寄せられ、地場産業振興につながる。製造コストや市場性などの問題が山積。目下、スギ、キリを主体に高品質低コストで市場参入に期待もてる商品開発を模索中です。試作品は、手文庫、茶筒、



手文庫

踏み台、スクリーン、キリ小箱など10数種に及んでいます。

わねら仲商

⑥

コーラスグループ コスモス

代表・小笠原トミさん

(蔵新田)

「コスモス」は、9月に誕生したばかりのコーラスグループ。会発足以来毎週土曜の夜、公民館のピアノを貸りて、森川九二市郎先生(下通)の指導のもとにレッスンを励んでいます。会員は、親子3組を含めた8歳から63歳までの41人で、町内全域に及んでいます。目下、11月の町文化祭での発表にむけ、「赤とんぼ」「埴生の宿」のほか、小松耕輔先生作曲「お山の細道」をレッスン中です。お腹からの発声はストレスの解消にも。みなさんも入りませんか。

務局職員
相談内容 △いじめに関する問題▽土地建物に関する問題▽登記に関する問題▽親子、夫婦、扶養、相続、戸籍に関する問題▽地代家賃等供託に関する問題▽その他人権擁護に関する問題

61年度後期技能検定 (国家検定)

受検受付 10月6日～17日

実施職種 さく井、鉄工、婦人子供服製造など43職種

試験日 11月29日～62年2月23日までの指定した日。

詳しいことは、町役場企画

*ありがとう

町社会福祉協議会へ▽香典返しに替え金一封▽佐々木一郎さん(大琴)・佐々木儀助さん(下通)

町公民館へ▽図書▽小松一雄さん(東京都・山崎出身)・小松俊太郎さん(能代市・新町出身)

東光苑へ▽色紙55枚▽佐藤要

財政課か、県職業訓練課(0188-60-1733)、県職業能力開発協会(0188-62-3510)まで。
第2回秋田の名工展・職業訓練展
期間 10月23日～26日
会場 本西武(秋田駅前)2階スタジオ in AKITA
主催 秋田県・県職業能力開発協会・県技能士会連合会
現在活躍中の卓越・優良技能者の写真及び作品の展示と訓練生の作品展示ほか、名工の実演を行います。

次さん(中通) 紙おむつ30枚
ほか▽小松幸子さん(中通) スイカ10個▽工藤徳行さん(蔵) スイカ10個ほか▽町農業近代化ゼミナール トウモロコシ20キ▽伊東庄一郎さん(蔵新田) タオル100枚▽服部栄子さん(東京都) みどり保育園へ▽園児用トイレニングパンツ60枚▽大場忠秋さん(埼玉県・山崎出身)

今月の催し

- 9日・不用犬捕獲日
- 15日・ことぶき大学移動研修1班
- 18日・第26回奥羽横断駅伝大会
- 21日・狂犬病予防注射
- 23日・ことぶき大学移動研修2班
- 24日・乳児健康相談(有隣館)
- 27～29日・胃検診
- 27日・子宮がん検診(住吉会館、玉米支所)
- 28日・農業委員会(役場)
- 29日・子宮がん検診(商工会館、大蔵館)
- 30日・乳がん検診(住吉会館)
- 31日・子宮がん検診(克雪センター、大琴診療所)

ラブ・東由利'61

シリーズ・町内各団体長に聞く テーマ〈私の考える町づくり〉

No. 7 東由利町農業委員会 会長 小松 哲夫さん

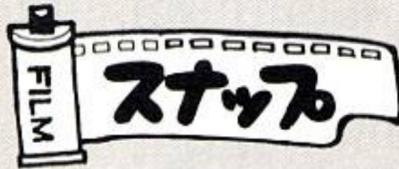
現代農業は、地域農業の核となる農家の減少傾向と、農業専従者の高齢化、兼業化の進展等の問題が目の前にきていることを認識し、これに対応すべく農業生産構造の確立と、米を中心としながらも、地域特産品づくりの展開に向けた作目の開発、販売体制の整備が急務と考える。そのためには、意欲ある中核的農家を中心に、経営及び技術修得の研修、あるいは経営規模拡大のための推進を図るなど、町の農業を担う人材の養成に努めなければならないことを痛感する。また、ポスト水田再編三期対策をむかえるなど、農業をめぐる厳しい情勢の中で、これをいかに乗り越えるかは、やはり、行政の援助を得ながら、農業者の意欲と実行に他ならないのではないだろうか。



「フォークダンス」

撮影・小松由子さん(上通)

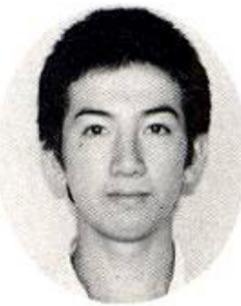
9月14日に行われた永慶保育園運動会のフォークダンスでの一コマです。おどる子どもたちのうしろ姿がとてもかわいらしく印象的でした。



「スナップ」に町民のみなさんの撮った写真をお寄せください。

私もひとニコロ……

9月21日、下郷分校の学校祭で東由利町が舞台の「孤独の街」という演劇が行われました。主演した3人の高校生に、町づくりへの期待を聞いてみました。



息子を都会に出して亡くした心さみしい老人を演じました。長男、長女はもちろん、二男女、三男女を都会に流出させない町づくりを望みます。(2年・工藤昭仁くん)



私は、ボケているおじいさんの相手をするおばあさん役。将来こんなことをしなくてもすむよう、福祉のゆきとどいた町になることを願っています。(1年・小野千登勢さん)



ぼくは殺人者の役でしたが、東由利町は大きな犯罪のない町です。今後とも、「犯罪のない明るい町」をつくるため、人づくりも大切にしてほしい。(3年・渡辺英昭くん)

戸籍の窓口

(8/21~9/20届出・敬称略)

うぶ声



佐藤 奈々子(多) 徳定・長女 石高
畑山 美香(多) 安夫・長女 宇戸坂
長谷山 結大(多) 聖修・二男 地下ノ沢
小松 諒(多) 幸輝・二男 須郷田
小松 貴(多) 忠広・二男 須郷田
大日向 愛(多) 力男・長女 宮ノ前

結婚



遠藤 直樹 蔵新田
高橋 聖子 東京都
伊東 幸寛 蔵新田
池田 弘子 仙北郡神岡町
嶽石 伊久雄 山崎
小野 伊津子 高屋

おくやみ



小野 モト(75 昭男・母) 須郷田

町のニ統計 9月(8/1~8/31)

●人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,020人 (0)	●出生 4人 (39)
・女 3,104人 (0)	●死亡 4人 (34)
・計 6,124人 (0)	●結婚 2組 (17)
●世帯数 1,461世帯 (△4)	●離婚 一組 (1)
●ゴミ処理量..... 43 t (292)	
●火災発生件数..... 0 件 (7)	
●救急車出動回数..... 6 件 (61)	
●交通事故(人身)..... 4 件 (12)	
●交通死亡事故「0」継続日数..... 2,268日	
●総合開発センター「有隣館」利用者数 1,394人 (11,998)	
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 790人 (4,934)	

町民の声を市政に！
町長面会日今月は20日

わかちあう幸せ



赤い羽根共同募金受付中

10/1 ~ 12/31

※10月は強調月間です

東由利町社会福祉協議会